

会議録

(1) 会議名

令和4年度第2回北杜市清里地域活性化委員会

(2) 開催日時

令和4年7月19日(火) 午後1時30分～2時46分

(3) 開催場所

北杜市役所 高根総合支所 2階大会議室

(4) 出席者

委員

| | |
|----------------------|-------|
| 関係団体を代表する者 | 小野 光一 |
| 関係団体を代表する者 | 三井 健一 |
| 関係団体を代表する者 | 酒井 久欣 |
| 清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人 | 武川 尚志 |
| 清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人 | 輿水 順彦 |
| 清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人 | 五味 愛美 |
| 清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人 | 谷口 信 |
| 清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人 | 秦 英水子 |
| 清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人 | 船木 良 |
| 学識経験者 | 安藤 勝洋 |
| 関係行政機関職員 | 小泉 嘉透 |

(代) 河野明統括課長補佐

市役所(事務局)

産業観光部長 中山 和彦
観光課長 土屋 直己(司会)
観光課 観光振興担当リーダー 長坂 恵一
観光課 観光振興担当 幡野 祐也
観光地域おこし協力隊 神谷 龍範
北杜未来部政策推進課長 川端下 正往
建設部長 齊藤 乙巳士
まちづくり推進課長 末木 陽一
まちづくり推進課景観指導担当リーダー 下條 剛
まちづくり推進課景観指導担当 神近 英一
高根総合支所長 小尾 正人

(5) 議題

- ・「清里ルネサンス計画」の策定方針について
- ・ワーキンググループについて
- ・その他

(6) 公開・非公開の別 公開

(7) 傍聴人の数 1名

(8) 議事の進行経過

1. 開会

2. 安藤委員長あいさつ

3. 議事

(事務局) 第1回に続き本日の会議は公開する旨報告。傍聴人1名入室。会議録については、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」第9条により会議の会議録を作成し、同要綱10条により公表することとなっている。

また、会議録には会議で指名する者、2名以上の署名が必要であり、議事録署名委員を委員の方々から指名する。

「委員名簿」順で、三井健一委員と酒井久欣委員を指名する。

協議会設置要綱第6条に基づき、委員長に議長となつていただく。委員長に議事の進行をお願いする。

(議長) それでは、議事について事務局より説明を求める。

(事務局) (1)「清里ルネサンス計画」の策定方針について、別紙資料をもとに説明。

(議長) 事務局からの説明が終了した。質疑があれば伺いたい。

(委員) 確認だが、本委員会は12月まで本委員会の開催はなく、グループワークを開催し、2月に市長へ提言とするということの良いか。

(事務局) グループワークでの進捗については、開催ごとに委員に電子メール(以下、「メール」という)等で報告はしたいと考えている。なお、2月の市長への提言をもって本委員会は解散となる。

(委員) 資料1の目次案について、説明では核となる部分は3.ルネサンス計画との説明であったが、ワーキングの中で3.ルネサンス計画の中身を膨らませていくという認識で良いか。

(事務局) ご指摘のとおり、ワーキングの中でテーマが出てきたところで、まとめていきたいと考えている。

(委員) 全体的な予算規模はどのくらいか、次年度以降の計画となれば規模感も知りたい。

(事務局) 今年度は計画策定に係る費用として委員の報酬、講師謝礼程度。来年度以降は計画策定にあたり短期、中長期の取り組みなど様々な意見が出てくるものと考えている。市の職員も同席をする中で、出来ること出来ないことは判断していきたいと考えている。予算の規模感は気になるころではあると思うが、議会や財政当局の考えもあり現段階では明言できない。

(委員) 清里地域全体とあるが、西は清里高原大橋、南は道の駅などどこまでを考えているか。具体的にエリアをどの範囲と考えているか。

(事務局) ワーキング、委員会で議論し決めていただきたい。

- (委員) 議論の時間もない中ある程度、エリアは絞った方が良いのではないかな。予算も含めて議論の効率も考えた方が良いのではないかな。
- (委員) コアとなるのは駅前ではないかな。アプローチする道と感ずる部分も含まれていると思う。エリアを決めてしまうということのもどうだろうか。
- (委員) お客様目線から見たときに、清里への案内看板を目にしたところから、例えば、インター降りて清里まであと何キロとかいう看板を見たときから、清里に入っていると感ずるのではないかな。エリアは面として考えていただきたい。赤岳の頂上も、県境をまたぐ野辺山も含め連携を図っていくという目線で進めてほしい。今日の会議では、エリアをどこにということではなく、清里が変わるチャンスだと捉えている。ここからスタートするというところで、この時間軸、スケジュールで進めてほしい。
- (委員) 確かに駅前は大切だが、市でも様々なサイン計画等もあったが、バラバラでは統一したイメージを発信できない。全てを拘束するというのではなく、ふんわりしたイメージを共有して、清里を面として考えていきたい。
- (議長) エリアについては、委員の共通の認識として清里を面としてとらえていただいて考えていくということで、議題1について採決を取る。承認いただける委員は拍手をお願いしたい。
- (委員) ～拍手～
- (議長) 拍手多数、承認されたものとし進めていく。議題(2)ワーキンググループ(以下、「WG」という。)について事務局の説明を求める。
- (事務局) (2) WGについて、別紙資料をもとに説明。
- (議長) 事務局からの説明が終了した。質疑があれば伺いたい。
- (委員) WGメンバーについて、女性の比率が少ない。移住をして子育てしている世代の母親や保育士などの意見も入れていけるようメンバーの再検討できないのかな。
- (事務局) 子育て世代の母親の皆さんの話はぜひ伺いたい。WGに招いて意見を交わしていきたい。ただ、最終的には、この7名で案をまとめてほしい。
- (議長) WGメンバー以外にも招致することで検討していきたいとの事務局の説明だがどうか。
- (委員) WGメンバー以外の人々の参加を呼び掛けていくのは良い、WGメンバーで意見を吸い上げてくれる人を検討してほしい。WGの7名だけの意向で作られてしまわないかな。地元の意向はどう吸い上げるのかな。事業主ではない立場の地元の住民の意向は誰が吸い上げてくれるのかな。特に檜山地域など東清里の考えは誰が拾ってくれるのかな。
- (議長) WGメンバーが地域の人たちの接点を持って意見を吸い上げると認識しているが。
- (委員) 地域の意見が置いてきぼりにならないよう、誰に言えばWGに反映されるのかわからないと意見は吸い上げられないと思う。
- (委員) 母親の視点、障がい者の視点いろいろあると思う。WGは少人数で検討することにメリットもある。しかし、WGを4回、5回と重ねた後に、活性化委員会へ12月に諮り、残りひと月で修正し2月提言となると、各代表として来ている委員からの意見吸い上げる機会が少ないと思う。もう1回、2回ぐらひは委員会の開催を追加してはどうか。

(事務局) スケジュールは案であるので7月から12月までの間に委員会を開催することはできる。WGの考え方として、メンバー以外にも30代、40代で参加したい人は参加していただくことを考えている。全住民の意見を聞くのはできななので、そこはアンケートや追加召集するメンバーの方と意見を交わし、メンバーで集約をお願いしたい。

(議長) ○○委員の話は、地域の方の意見をどうやって聞くかということ。

(委員) 観光の視点から話すが、いろいろな視点がある。観光に関係しない人も、観光が元気にならなければと理解していただけることを目指したい。声なき声を聞きたいと考えている。発言してくれる人は良いが、後継者がいない方、自身でフェードアウトしたいと考えている人は声を出してくれない人もいる。そういう人の声は聴けていない、酪農の方の声も聞けてないということもある。観光でない人たちも、WGを勉強会として考え、どうしたらよいか聞いていく、考えていく、行政も公正公平という視点もあると思う。WGメンバーは他の意見も共有して、インタビュー、アンケートで出た意見だけでなく、また委員長、副委員長リーダーシップに流されることなく、意見は言わせてもらおう。それを委員の皆さんでジャッジしてもらい進めてもらえればと考える。

(議長) WGの回数や意見の吸い上げ方などの意見が出ているが、副会長はどうか。

(委員) いろいろな意見はわかる。委員の責任の中でやってもらうということではないか。ある程度、地域の事情も分かっている、個人の資質もあって来ていただいている方達だと思う。かといって各団体の代表として総意を確認してきているわけではないと思う。しかし、各委員に責任があるという意識に基づいて、地域との繋がりの中で、各委員が聞いてきた話を持ってくる。委員会とWGは密に連携し情報の共有ができればと考える。

(委員) 1か月ごとにWGの情報(メール)は欲しい。議事録までとは言わないが、委員はメールに対し意見をWGへ伝える方法が良いのではないか。

(議長) WGでの内容については、密に委員へ伝達することとし、委員会の回数についてはどうか。

(事務局) 次回委員会は10月に開催としたいが良いか。WGについてもスケジュール表に示した以外にもリモート等での開催も行っていく。

(議長) 委員から他意見はないか。

(委員) WGへ30代、40代の誰かを呼びたいときは、どのように声をかける手続きになるか。議長は学生なども声をかける予定あるか。また、招致する講師の話を聞きたいといった方がいた場合はどうしたら良いか。

(事務局) WGの中で必要とあれば決めていただいて、次回呼ぶということになる。メンバーからお声がけして頂いても良いが、必要があれば事務局で声掛けすることはできる。また、今年度は講師と考える人達も講演会のようなことは考えていない。ディスカッションと考えてほしい。来年度以降は予算措置等も含め、住民の方達にも知ってほしい話があれば講演会など開催していければと考えている。

(委員) 資料2について、1, 2, 3と項目があるが、今年度はどこまでやるのか。また、次年度以降の計画はどう考えたら良いか。

(事務局) 中期、長期の計画策定は難しいと思うが、すべて今年度中に計画策定する。事業の実施は次年度以降に予算化等を検討する。

(委員) WG から委員会に計画案が上がり承認するということか。決め方がわからない。

(事務局) 委員会の時間は限られる。WG から委員会へ説明する中で、委員から長時間かけて説明が必要ということであれば、委員会で決めていただき進めたい。

(議長) 現段階でルネサンス計画のイメージはぼんやりしているが、ボリュームのイメージの共有は大切。

(事務局) ボリュームばかりがあって生かされない計画では無駄なことになってしまう。計画の柱を考えてもらって、生かされる計画を作っていきたい。

(議長) 計画よりはビジョンに近いイメージで良いか。

(事務局) ご指摘のとおり。

(委員) 内容はWGが検討、委員会は説明を受けて承認するということが良いか。長い時間かけてWGが策定したものを、短い時間の委員会の中で理解できるとは思わないが。

(委員) 本来は住民自身が先頭に立って、なんとかしないといけないということの中で、市長から声をかけてもらって、今の動きがある。清里としてこの取り組みに期待している。平日と休日で格差のある観光地のままで生き残っていけるのか。アイデア、意見を聞いていこうということではないか。どういう清里を目指すのか意見を聞く順番はあるかもしれないが。

(委員) 順番は関係ない。WGに参加する人は、何が検討されてきたか分かるが、委員は何も知らない中の委員会で決めていく、あて職でただ承認を求められるだけならば、委員会に参加する必要はない。

(委員) 第1回の時に、各委員から会の進め方については意見を話している経過がある。前回の会で、この人数で話してもまとまらないので、地元の人で揉んでもらってという意見が多く、ワーキング形式になって中身をまとめないと委員会でまとめられないということになった。WGの中身でスピード感が変わってくる。勉強会なのか、スピード感重視なのか、選択肢も変わってくる。私は交通の代表としてきており、地元の人とは関わり方が全然違う。地元のことはわからないが、公共交通の代表として、全て決まった後に聞きました、という訳にはいかないのここへ来ている。

(委員) 今日は、WGですということを決めるということが良いのか。事前資料もない中で、今日来ているが、委員はワーキング期間中に何を準備して会へ望めば良いか。

(委員) 委員会が大本の会であり、WGが計画を作るということではない。WGは委員会のサブ的な位置づけである。委員会のメンバーの中で効率的に作成するためにはWGが必要だと考えて設置が提案されている。

(委員) 話しの進め方が見えてこない。WGで話す内容が多岐にわたる中で、地元の代表としてきていて、WGから出てきたものに対し意見するにも、地域の人から意見を聞いてこなければならぬ。委員として何をすれば良いのか示されていない。WGの必要性は理解している。あて職で来ている以上、

やるべきことを教えてほしい。

(事務局) 事前の情報量が少ない中で、今回初めてお越しいただいております。その点については申し訳ない。先ほどお伝えしたとおり、WG の内容、進捗状況は委員の皆様へメール等でお知らせする。その際、内容に対するご意見等あれば、都度回答を WG の場へ委員からの意見として共有するという方法ではどうか。

(議長) 地域の代表として出席いただいているということで、委員で地元とも相談や確認したいことなどもあるということで、事務局において WG と委員との情報共有をし、都度意見聴取すること。また、10月に委員会を追加するという点を修正し、採決を行う。賛成委員は拍手をお願いします。

(委員) ～拍手～

(議長) 拍手多数と認めます。議案(2)は承認されました。議案(3)その他、各委員、事務局から何かありますか。無ければ議事を閉じます。活発な意見ありがとうございました。

4. 閉会

午後2時47分終了

令和 年 月 日

議事録署名人 _____ 印

議事録署名人 _____ 印